



大用小学校学校だより NO.8

とみやま



令和6年7月5日 文責 校長 弘瀬

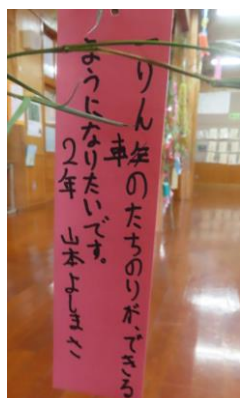
水生生物から大用の水のきれいさや環境の豊かさを学びました!(水辺の楽校)



7月4日(木)、大用三島橋の下の河原で3・4年生が水生生物の観察をしました。これは、四万十川財団の神田さんと四万十市環境生活課の職員さんのご協力により、毎年体験をさせていただいている活動です。

子どもたちは、6月3日の座学で水生生物を調べると何が分かるのか、どんな生き物がとれるのか、生態系の中でどんな役割をしているのかなどを学びました。そして、この日が実際に川での観察となりました。数日前から30℃を超える真夏日となっており、川の中では気持ちよく活動ができました。スコア値10に近いほど水がきれいなのですが、スコア値9のサワガニやヒラタカゲロウ(幼虫)、カワゲラ(幼虫)、ヘビトンボ(幼虫)をはじめ、スコア値8のカワニナも取れました。このほかにもテナガエビやスジエビなども取ることができました。子どもたちは、地域にある水生生物を調べることで、改めて大用の川の水のきれいさや環境の豊かさを実感することができたのではないのでしょうか。

平和七夕祭に折り鶴を飾っています!



折り鶴集会で折った鶴を天神橋アーケードに飾っています。期間は7月23日(火)午後4時までです。今年は5・6年生が大用をイメージする水色・緑色・黄緑色の3色を考えました。大用の山の向こうに見える青空と山の緑、田んぼや草の黄緑が上手に表現されています。また、『戦争のない世界へ』という5年生が作ったメッセージも添えられています。

ワークホールには、一人一人の願いを込めた七夕飾があります。「みやだいくになれますように」、「サッカーでロングキックをくれますように」、「たいこでちょっとでもあんきできますように」、「けいさんがうまくとけるようになりますように」など、子どもたちの思いが伝わってきます。

この揺れが3分も続くと怖い!(7月1日:起震車体験)



▲雨天のため、渡辺石油店さんのご厚意により大きい屋根のある場所で体験ができました

1・2年生は震度6を、3年生以上は震度7以上を体験しました。わずか1分程度の揺れ体験でしたが、これが3分間も続くと考えるところわいなと感じました。高学年の子どもは4月の地震と重なるのか、神妙な面持ちでした。